

東中学校区の「めざす子ども像」の実現をめざした小中一貫教育の推進

【めざす子ども像】 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる子

【研究主題】 「主体的にかかわりながら、対話的で深い学びに取り組む児童生徒の育成

— 全体組織図と各会の役割・活動 —

中学校区校長会	
構成	・東中校長《会長》 ・手城小校長 ・深津小校長 ・旭小校長
役割	・小中一貫教育推進委員会全体の方向性等の検討、各企画の決済
小中一貫教育推進委員会	
構成	・各校教頭（必要に応じて） ・東中推進教員《委員長》 ・手城小推進教員 ・深津小推進教員 ・旭小推進教員 ・各部長
役割	・小中一貫教育推進に係る全体計画等の企画・立案 ・2部会の方向性や研究内容、課題等についての検討・協議・調整・確認
授業改善・ESD 部会 代表者会	
構成	・各校教務主任（研究主任） ・各校 ESD 推進担当
役割	・部長：東中 ・副部長：手城小
特別支援教育・不登校ゼロ部会 代表者会	
構成	・各校生徒指導主事・各校特別支援コーディネーター
役割	・部長：深津小 ・副部長：旭小
授業改善・ESD 部会	
「協働的な学び」を切り口にした授業研究	
①授業研究を通して、各校の主体的な学び（『学び合い』）について、「協働的な学び」の視点から交流・検証	
②ふるさと学習（ESD 教育を含む）の交流	
特別支援教育・不登校ゼロ部会	
「個別最適な学び」を切り口にした授業研究	
①授業研究を通して、各校の主体的な学び（『学び合い』）について、「個別最適な学び」の視点から交流・検証	
②課題をもつ個（不登校・生徒指導、特別支援等）への支援の交流	

授業改善・ESD部会

《研究の視点》

探究的な学習や体験活動などを通じ、子供同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する

— 推進のイメージ —

自己を認識し、
自分の人生を選択し
表現することができる子

「記号接地」につながる学びへ

一体的な実施へむけ
授業研究・実践交流

特別支援教育・不登校ゼロ部会

《研究の視点》

・支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う（指導の個別化）
・教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する（学習の個性化）

— 東中学校区の様子 —

